

PRESS RELEASE

2007年3月1日

株式会社インターネットイニシアティブ

IIJ、「IIJセキュアMXサービス」にメールボックス機能を追加

-- メールシステムに必要なあらゆる機能のフルアウトソースを実現し、トータルコストを大幅に削減 --

株式会社インターネットイニシアティブ(IIJ、本社:東京都千代田区、代表取締役社長:鈴木 幸一、コード番号:3774 東証第一部)は、企業のメールに必要なセキュリティ機能を統合的に提供する「IIJ セキュアMX サービス」に、新たに「メールボックスオプション」を追加し、本日より提供開始いたします。

「IIJ セキュア MX サービス」は企業内のメールシステムとインターネットの間に設置した IIJ のゲートウェイサーバを通して、迷惑メール対策をはじめ、アンチウイルス、メール送受信経路の暗号化、メールの監査・保管など、メールに関するあらゆるセキュリティ機能を提供する ASP サービスです。今回、オプションとして新たにメールボックス機能を追加し、以下のように特徴が拡がりました。

■主な特徴とメリット

・ メールシステムのフルアウトソースを実現

従来、「IIJ セキュア MX サービス」をご利用いただく際、お客様は自社内でスプール用のメールボックスを運用する必要がありました。今回、新たに追加されたメールボックス機能を利用いただくことで、お客様は、自社でメールスプールを持つことなく、メールシステム全体をフルアウトソースすることが可能となります。

また、IIJのメール専門エンジニアが、メールボックスを含めたゲートウェイシステムを24時間365日体制で監視、運用しているため、従来メールシステムの運用にかかっていた負担が大幅に軽減されます。さらに「IIJ セキュア MX サービス」の各種セキュリティ機能を併用することで、より安全で安定したメール環境をご利用いただけます。

・ 社内の統合メール管理を実現

同一企業内でドメイン毎にメールシステムを構築・運用している場合や、一部ドメインで他社ISPのホスティングサービスを利用している場合など、社内外に分散したメールシステムを「IIJ セキュア MX サービス」のメールボックス機能にまとめることで、企業内メール環境の統合管理を実現します。さらに、「IIJ セキュア MX サービス」の各種セキュリティ機能を利用することで、社内間メールの監査・保管なども可能となり、企業内のセキュリティーポリシー管理をはじめとしたIT統制の強化を実現いたします。

・ トータルコストの削減

メールボックスを含めてフルアウトソースすることで、運用負荷の削減はもちろん、ハードウェア/ソフトウェアの資産リスクを一切負うことなく、メールシステム全体にかかるトータルコストの削減が可能となります。また、メールボックス機能を利用してメールシステムを集約・統合することで、コスト効率が大幅に向上します。

IIJでは、「IIJセキュアMXサービス」の提供を通じて、お客様にとってより快適で安全なメール環境を提供してまいります。

■メールボックスオプション機能概要

基本容量	10GB、以後 1GB 単位で容量追加可能 (アカウントごとに容量制限設定が可能)
一通あたりの容量制限	100MB
メール保存期間	未読メール 60 日間 既読メール 30 日間
メール転送	5 箇所まで転送先指定が可能 (管理者が転送許可/禁止を設定可能)
メール送信時の認証	SMTP 認証
通信経路の暗号化	POP/SMTP over SSL 対応
アクセス制限	接続元 IP アドレスによるアクセス制限可能
MailViewer	簡易 Web メール機能対応 (管理者が利用許可/禁止を設定可能)

■IIJ セキュア MX サービス機能一覧

基本機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 迷惑メールフィルタ ・ アンチウイルス ・ 送信ドメイン認証 ・ 経路暗号化 ・ 添付ファイルフィルタ ・ 配送保留 ・ ホワイトリスト ・ 送受信ログダウンロード
オプション機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ メールアーカイブ ・ メール監査 ・ オンラインストレージ(DOX)連携 ・ メールボックス

報道関係お問い合わせ先

株式会社インターネットイニシアティブ 広報室 富永、手島

TEL: 03-5259-6310 FAX: 03-5259-6311

E-mail: press@ij.ad.jp URL: <http://www.ij.ad.jp/>